

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 30代	てんかん (なし)	1,000mg 25日間	自殺既遂 小学生の頃、症候性てんかん発症。	
				投与1日前	けいれん発作により入院。てんかん発作が頻発していた。
				投与開始日	ゾニサミド、クロバザムに加え本剤 1,000mg 投与。
				投与3日目	退院。
				投与14日目	受診時、少しねむけが強いとの訴えあり。また、本剤投与5日目に1回発作があったとのことから、ゾニサミドを減量する。
投与25日目	患者が自殺した。 患者は本剤内服後より、いらいらしたり、話し方が攻撃的になったとのこと。言葉が非常に攻撃的で異常なくらいだった。自殺をする要因は見当たらなかった。				
併用薬：ゾニサミド、クロバザム					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	女 40代	てんかん (なし)	投与量不明 投与期間不明 500mg 5日間	自殺企図 10歳代から、けいれん(てんかん)で通院していた。	
				本剤投与開始	開始時期不明。 事象発現の2ヵ月前に一旦本剤の投与を中止しガバペンチンに切り替えた。 約1ヵ月後、ガバペンチンの投与を中止し、本剤500mgの投与再開したところ、明らかに精神的に変調をきたし、易興奮性、幻覚、無意味に笑うなど、陽性症状が前面に出ていた。興奮状態が続き、收拾がつかなくなったため、同日、救急搬送された。その際、興奮が強く、半ばパニック状態であった。また、突然立ち上がり叫びだしたり、感情失禁などが散見された。頭部CT及び脳波検査で特異的所見なし。
				投与再開4日後	朝、自宅のベランダから飛び降りた。 投与再開日より自殺企図まで易興奮性はほぼ不変であった。 精神的変調の既往は認めていない。
併用薬：ゾニサミド，カルバマゼピン					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
3	男 70代	複雑部分発作 (認知症)	250mg 16日間	自殺企図	
				投与開始日	フェニトイン, カルバマゼピン, ジアゼパムに加え本剤 250mg 投与。
			500mg 29日間	投与 17 日目	本剤 500mg に増量。
				投与 32 日目の頃	「体が痛い」という訴えあり。痛みは本剤投与 1 ヶ月後に, 全体的に様子がそわそわとおかしくなった頃からみられた。
				投与 32 日目	ベルトを天井のはりにかけて首をつろうとしているところを発見し, すんでのところまで止め, 事なきを得た。その後もひもを首にかける行動あり。
				投与 46 日目	そわそわして落ち着かず, 焦燥感もあるように見え, 様子が普段と全く違うため, 本剤投与中止。その結果, すみやかに行動面, 情動面の改善が見られ, 元のおだやかな状態に戻った。
中止 6 日後	自殺企図・体の痛み・焦燥感は回復。				
併用薬 : フェニトイン, カルバマゼピン, ジアゼパム					